

三中部活動安全マニュアル

サッカー

	予測される危険	安全対策
用具	<ul style="list-style-type: none"> ●防球ネットの破損 ●スパイクの紐がほどけて転倒 ●ゴールが倒れる 	<ul style="list-style-type: none"> ●こまめな点検。破損を確認したら修繕（依頼）。 ●生徒への呼びかけ、相互点検。 ●金具などでしっかり固定。 ゴール移動の際などは指導者監督の下で十分注意して行うこと。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ●グラウンドの凹凸による捻挫 小石などによる怪我 ●防球ネット等への衝突 ●ボールを踏むことによる転倒 ●雷雨、落雷 ●熱中症 	<ul style="list-style-type: none"> ●丁寧なグラウンド整備。 ●設置場所の確認、周知。 ●グラウンド周辺に必要なボールを散乱させない。 ●事前に情報収集に努め、早めに安全な場所に避難。 ●服装（帽子）、水分補給、アイシングなど。
練習中	<ul style="list-style-type: none"> ●蹴ったボールが周りの人に当たる ●他部活の生徒との衝突 ●アップ不足による怪我 ●接触による怪我 ●複数メニューを同時進行している際の衝突 ●ヘディング練習時の頭同士の衝突 ●疲労の蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> ●防球ネットの設置。ネットを越えた際には部員が大きな声をかけるなど約束事を決めておく。 ●声掛けの徹底。 ●時間をかけて丁寧にアップさせる。 ●すね当てやキーパーグローブなどの安全用具の装着を徹底。フェアプレーを遵守し安全なプレーを行うよう指導。 ●周りの環境を常に把握させる声掛け、適切な練習メニューの設定。 ●正しいヘディング方法の指導。 ●時間をかけてじっくりクールダウンをさせる。

※救急箱を用意し、怪我の際はすぐに応急処置ができるようにしておく。